

沖縄戦没者遺骨収集事業に参加して



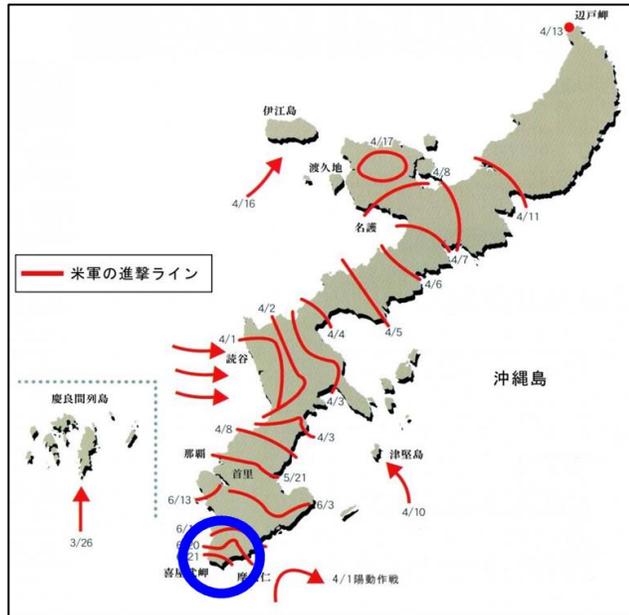
安田啓喜（6年），小鮎亜裕美（3年）

福田昭斗（3年），宗川桃子（3年）

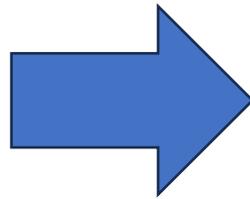


沖縄戦没者遺骨収集とは

沖縄は太平洋戦争の末期に激しい地上戦が行われた場所であり、地上戦では日米合わせて約200,000人が亡くなったとされています。そして終戦から79年たった今も2,500柱以上もの遺骨が発見されていないと言われています。



拡大



沖縄戦の実相 | 沖縄市役所 (2024年8月17日閲覧)

<https://www.city.okinawa.okinawa.jp/heiwano hi/2524/2526>



遺骨収集の概要

- 日本法医病理学会は地元ボランティア団体からの依頼により、2018年から本事業に参加するようになりました。法医学は、遺骨収集において形質鑑定やDNA鑑定による身元確認を行うなどで重要な役割を果たしています。
- 今年は8月17日に日本法医病理学会の先生方や他大学の学生も合わせ30名が参加しました。和歌山県立医科大学は大学院準備課程として法医学を専攻している学生4名が参加させていただきました。



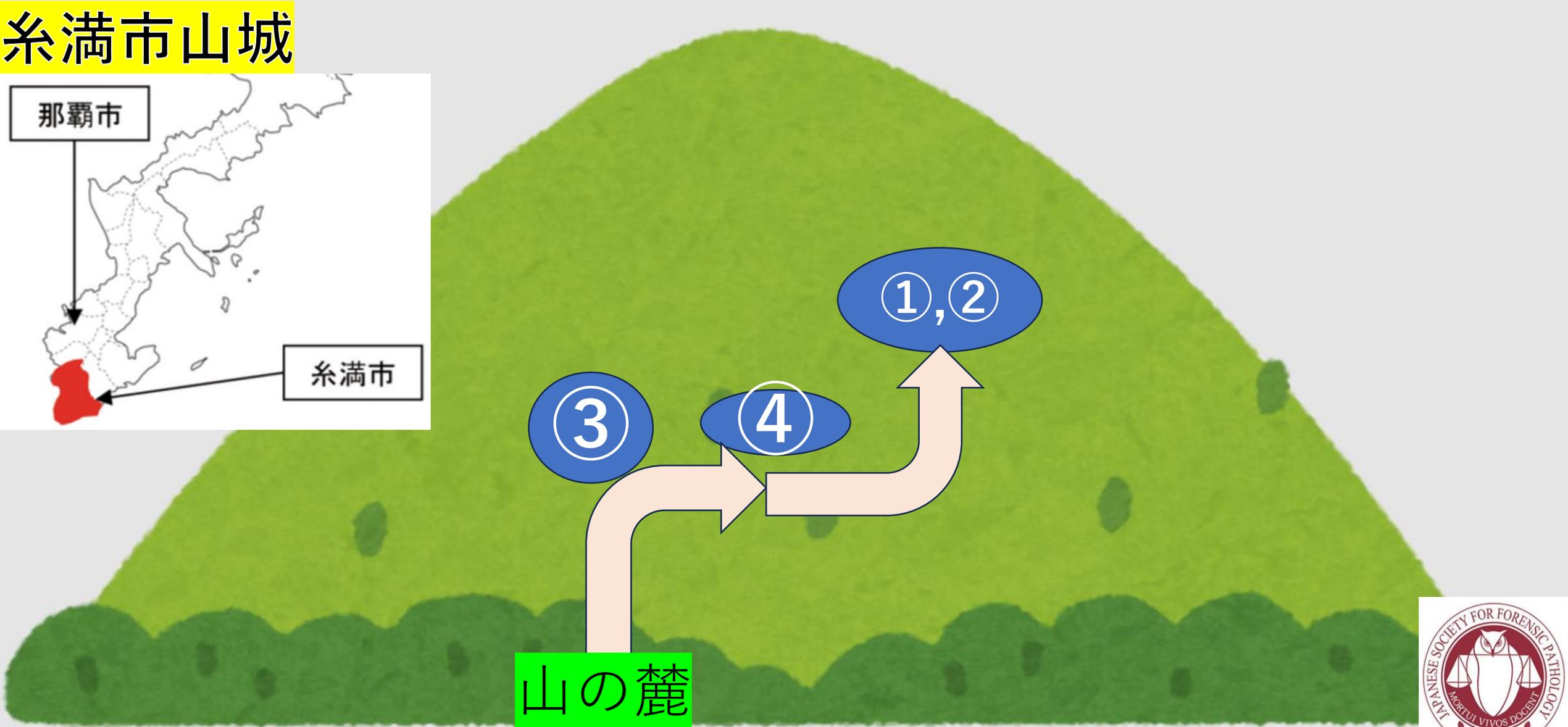
遺骨収集の参加者

- 和歌山県立医科大学 客員教授 1 名・教授 1 名・他 5 名
- 久留米大学 教授 1 名
- 長崎大学 教授 1 名・他 7 名
- 香川大学 教授 1 名・他 2 名
- 大阪医科薬科大学 教授 1 名・他 2 名
- 日本歯科大学 教授 1 名・他 1 名
- ボランティア 6 名



遺骨収集の概要

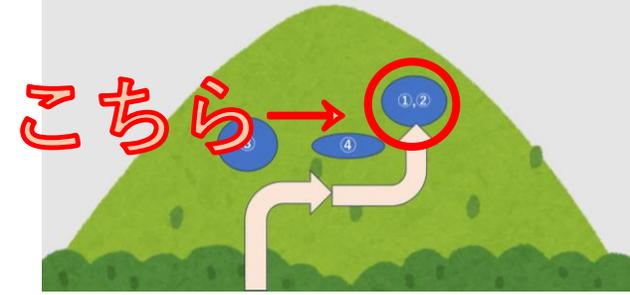
糸満市山城







ガマ 1, 2 の様子



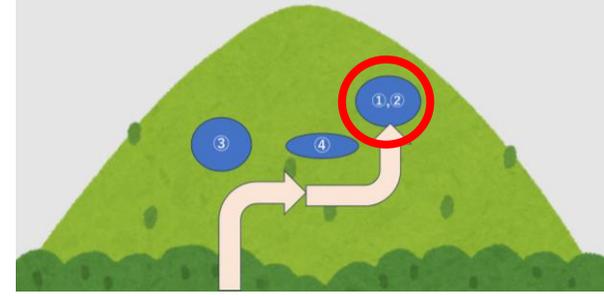
ガマの外



ガマの中

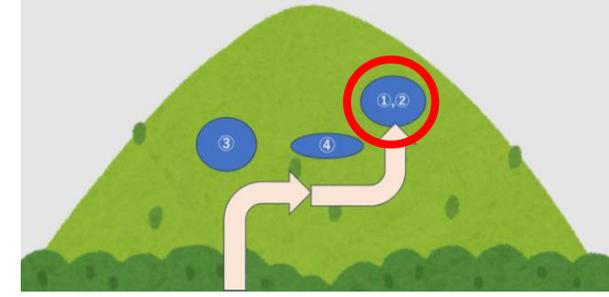


ガンマ 1 から収集された遺骨 (大人の長管骨)



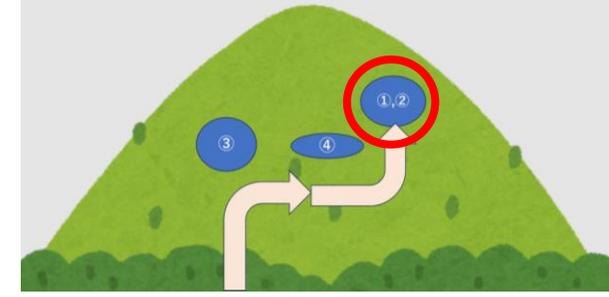
上腕骨 30cm

ガンマ 1 から収集された遺骨 (大人の長管骨)

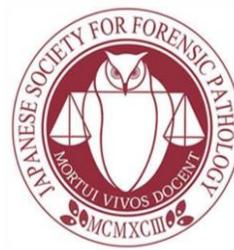
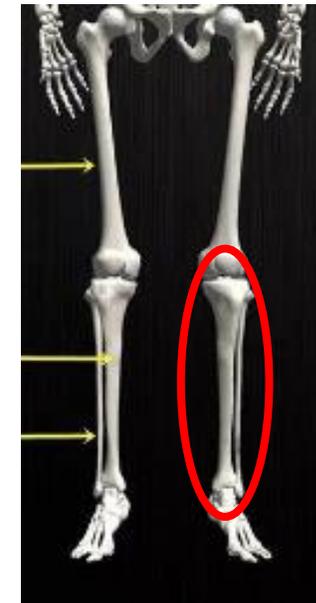


大腿骨 34cm

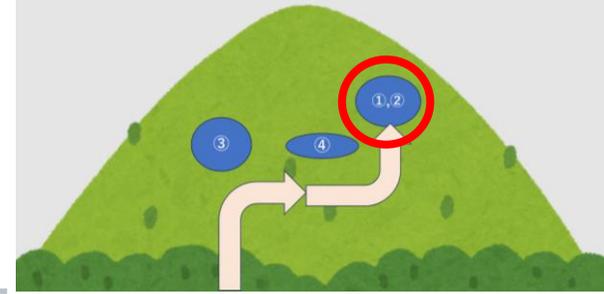
ガンマ 1 から収集された遺骨 (大人の長管骨)



脛骨 21cm

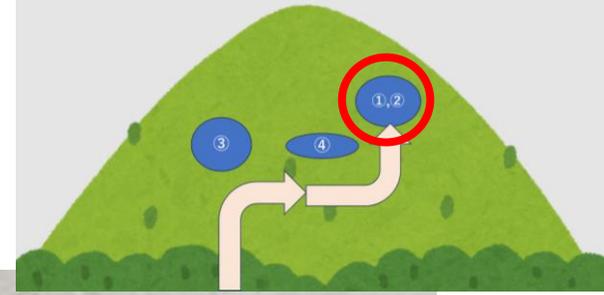


ガンマ 1 から収集された獣骨



大腿骨 3cm

ガマ 2 から収集された遺骨

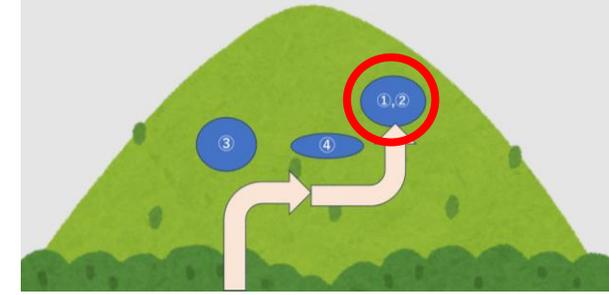




①

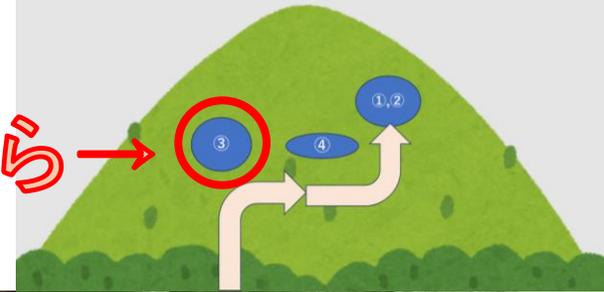
約2.5メートル

②



- ガマ 1 からは成人男性のものと思われる長管骨やその他多数の骨片が収集できました。
- ガマ 1 からは獣骨も収集されました。
- ガマ 1 とガマ 2 の間は約2.5メートル離れていました。このことからガマ 1 から見つかった遺骨とガマ 2 から見つかった遺骨は別の人のものであり2柱の遺骨がここから収集できたと考えられます。

ガマ 3 の様子 こちら→



ガマの外



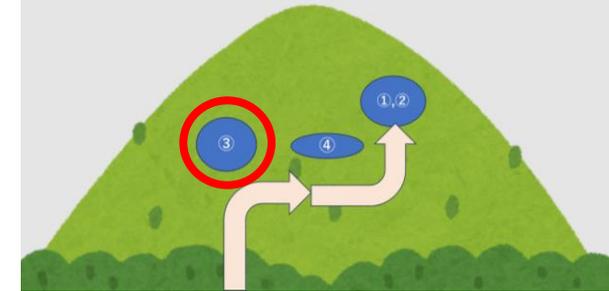
ガマの中



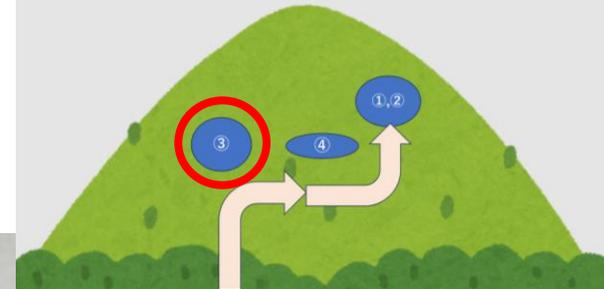
2024 08



ガマ 3 から収集された遺骨 (足根骨)

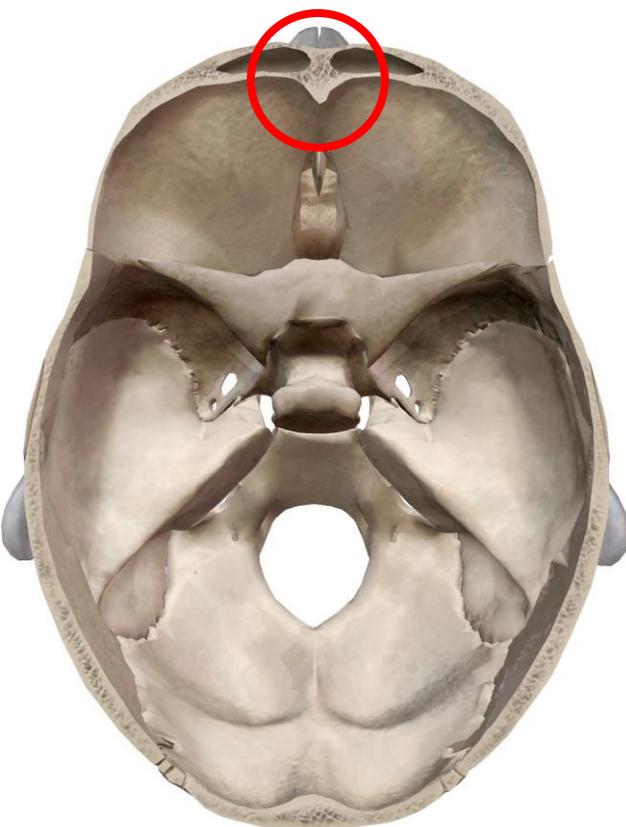
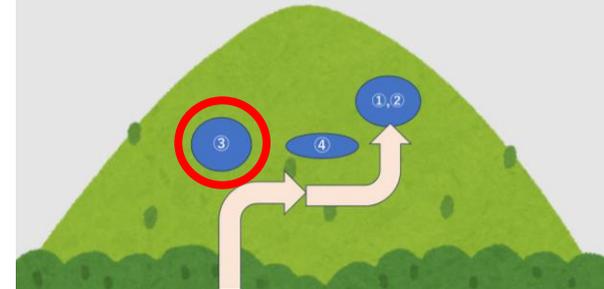


ガマ 3 から収集された遺骨 (頭蓋骨)



頭蓋骨の縫合部

ガマ 3 から収集された遺骨 (頭蓋骨)

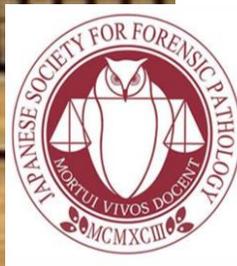
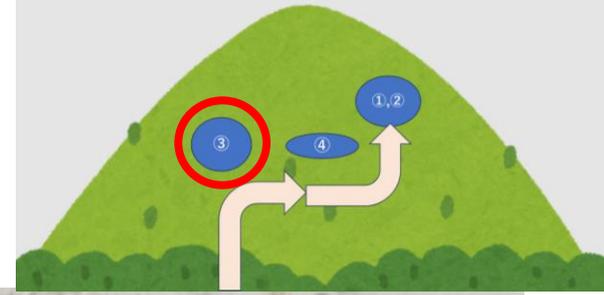


内側

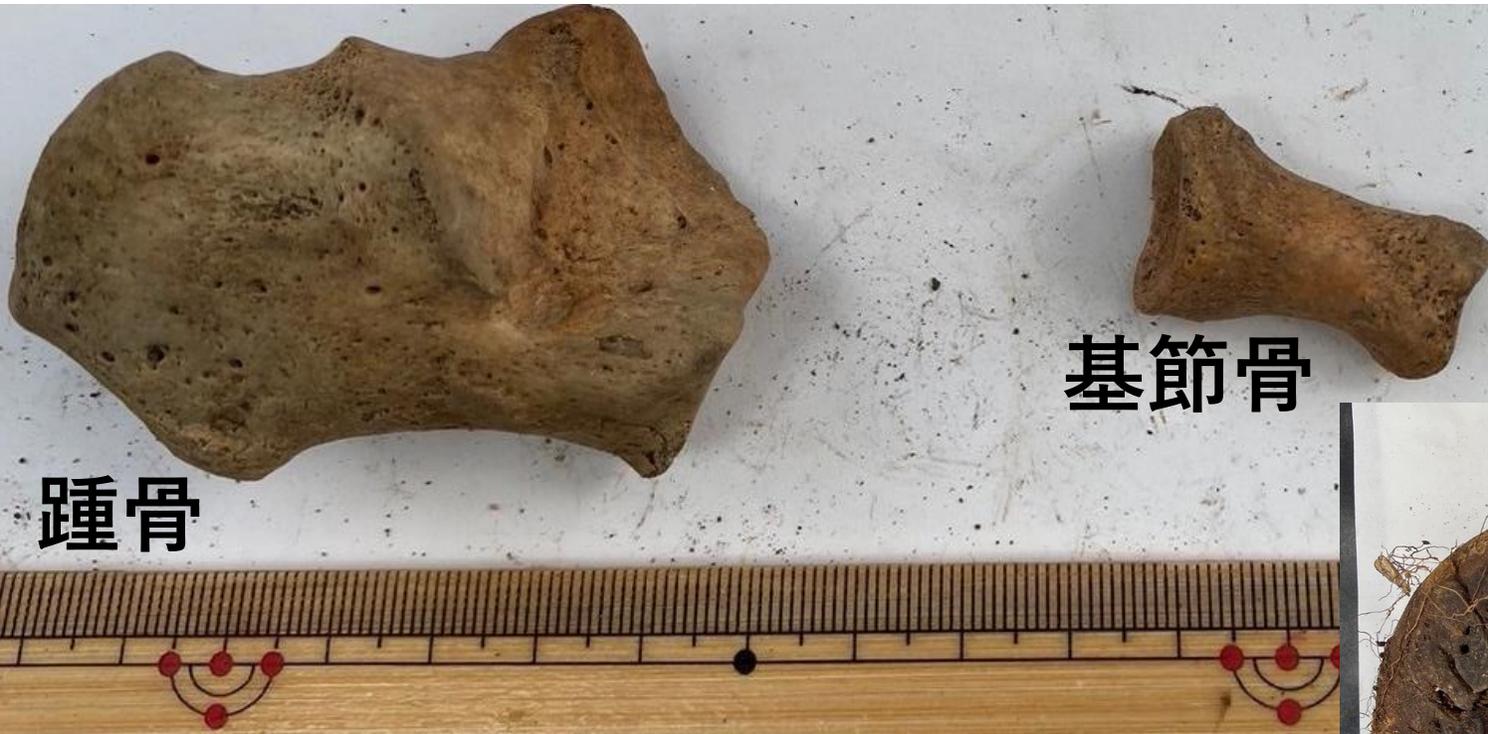
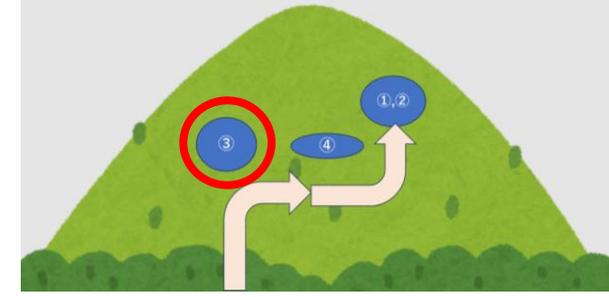


外側

ガマ 3 から収集された遺骨



ガマ 3 から収集された 遺骨・遺品



踵骨

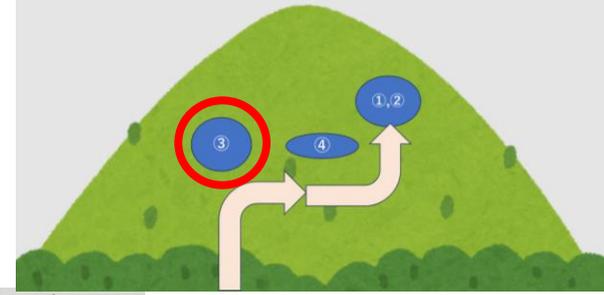
基節骨



ブーツの一部

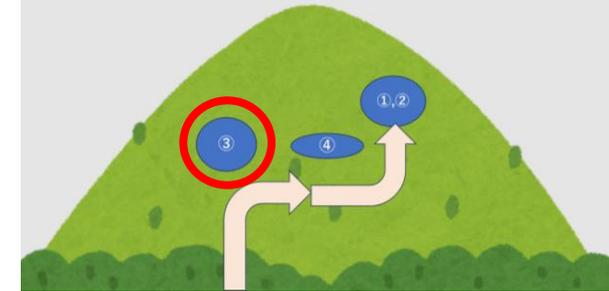
防弾具の破片

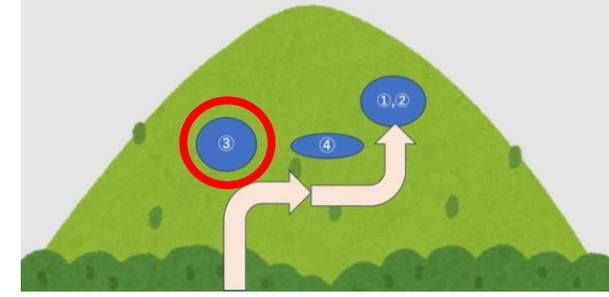
ガマ 3 から収集された遺品



がま口財布の金具

ガマ 3 から発見された手榴弾

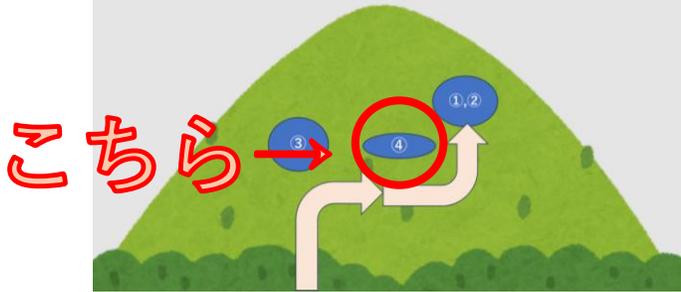




- ガマ3から収集された遺骨の中には何らかの影響で焼かれた遺骨もありました。ガマ3の中では一度溶けた形跡のあるアルミニウムも発見されたことから、ガマが火炎放射器などで焼かれた可能性も考えられます。
- ガマ3からは多くの遺品も収集されました。遺品も当時のガマの中の様子を探るための重要な手掛かりとなります。
- また、ガマ3からは手榴弾も発見されました。このように不発のままの爆弾や手榴弾が残っているということからも戦争がその土地に残す影響について考えさせられました。



ガマ 4 の様子

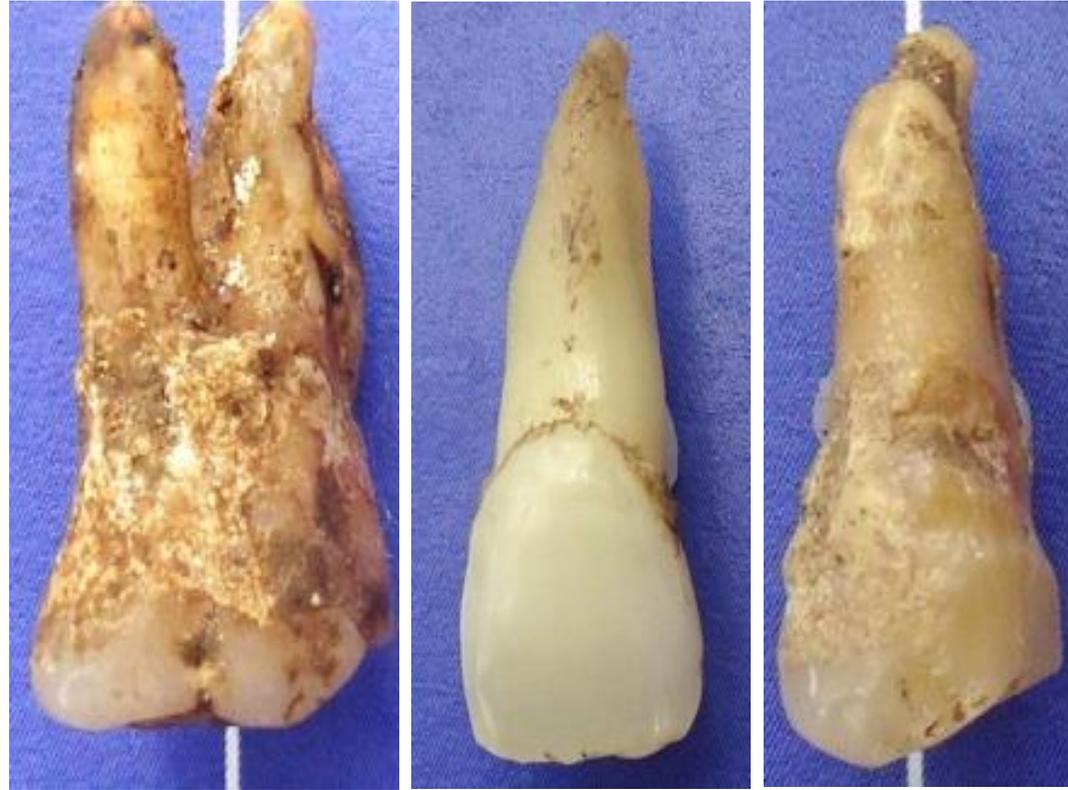


歯牙鑑定

ガンマ 1



ガンマ 3



ガンマ 4



- 今回の収集事業では、ガマ 1 から1本、ガマ 3 から3本、ガマ 4 から1本の計6本の歯牙が収集されました。
- 歯科法医学の先生方が収集された歯牙を鑑定しました。歯の形状から位置の特定を行ったり、歯石や咀嚼などによる歯の摩耗の状態から大まかな年齢を推定することができました。



話し合いの様子



後日改めて、収集した遺骨についての話し合いを行いました。また、今回は四か所に分かれて収集作業を行ったため、それぞれの場所での詳細の情報の共有を行いました。



おわりに

- 今回、5柱または6柱の遺骨を収集できたと考えました。
- 法医学者や法歯学者といった専門家が収集に関わることは、遺骨をより正しく鑑別するために必要であることを実感しました。
- 当時の方々の様子を推測できるとても貴重な経験でありました。



ご清聴ありがとうございました。

